

佃幼稚園 令和5年度

学校評価公表シート（関係者評価）

令和6年3月31日

- ・年度末に関係者評価委員会にお集まりいただき、一年を振り返り評価をいただきました。
- ・園長を座長とし、口頭での討議に不慣れな方もいらっしゃる想定し、付箋を用いた「田の字法」で、ご意見を伺いました。
- ・ご意見を頂いた後に園長から、各意見に対し回答ならびに説明を行った。

※会議日程 令和6年3月6日

出席評価委員： 保護者を代表する委員 5名

進行役： 園長

設問①	「佃幼稚園」について、いいなと思う点や、好きなところは？
ご意見：	<ul style="list-style-type: none">○遊び中心でのびのびとしているところ○担任以外の先生方が園児の名前や兄弟関係など覚えてくれている。○子供たちが喜ぶ行事や遊びをしているところ○もと神社立の園ということもあり、みこし曳や七五三参り、すもう大会などの行事がある。○地域の施設や小中学校との交流も多い。○先生が元気で明るい。
設問②	「佃幼稚園」について、イマイチだなあと思うところ、改善してほしいところは？
ご意見：	<ul style="list-style-type: none">○式典など一部の行事では、キャパの制約上両親で参加ができない。○長袖の体操服や日よけのついた帽子を導入してほしい。○保護者会の活動について、担任の先生が把握していないことがあり確認が大変。また行事の手伝いなど、早めに知りたい。○先生により対応にばらつきがあるように感じる。
設問③	「佃幼稚園」について、今後、こうはなってほしくないなあと思うことは？
ご意見：	<ul style="list-style-type: none">○行事が減らないでほしい。○これからも子供たちに愛情をもって接してほしい。○徒歩送迎が増えて欲しい。
設問④	「佃幼稚園」について、将来、こうなっていったらいいなと思うことは？
ご意見：	<ul style="list-style-type: none">○多くの保護者の方に、保護者会の活動に協力してもらいたい。 (一部の人に負担がないように) 役員になって欲しい。○親が楽しんで役員・行事参加出来たらいい。○アプリの導入で、連絡が楽になったので、もっとデジタル化が進んで、先生方も、保護者も負担が減ればいい。

2. 所感 並びに その他

子供たちが、様々な経験をし、のびのびと遊ぶ中で、主体的に活動できるように成長を援助する園の方針が受け入れられていると実感する意見がみられ、その継続が望まれていることが伺えた。

一方、給食への箸を導入して欲しいなど、生活面への支援も求められていた。

委員の方々をふたば会（保護者会）の役員の方をお願いしたこともあり、ふたば会に関する意見が多くみられた。保護者をとりまく環境や価値観も大きく変わっており、また多様であり、結果として例年同じようなご意見をいただくことになり、喜んで参加いただけるような機会になっていないことに申し訳なく思う。変更していることも多いが、実感につながっていない。

保護者の多様化もあり、参観や行事・保護者会活動など運営が難しいことも多く、その運営については今後も工夫が必要だと感じた。また、それぞれの立場により感じかたも多様であり、全ての意見を取り入れることは困難であり、多様なニーズを拾いながらも、各々のニーズにそぐわないことでも受け入れて頂くための説明などの難しさを実感した。

年度が替わると直ぐに新役員の勧誘となるが、コロナ禍に開催できていなかった総会が来年度は開催する予定であるので、現役員さんと協力して勧めたい。

マイナス要素として挙げられることも、ねらいをもって意図的に行っていることもあるが伝わっていない。関係者会議では説明させていただくことが出来るが、保護者の立場に立ってあらかじめ伝える重要性が確認できた。

年度途中からアプリが導入されたが、利用に際しては概ね好評であり、来年度はさらにその利用範囲を広げる予定である。